



中期経営計画「シン・ニッチツ2025」進捗状況

当社は、2023年5月12日に2023年度から2025年度の3年間の中期経営計画を公表いたしました。計画初年度の進捗状況をご報告いたします。

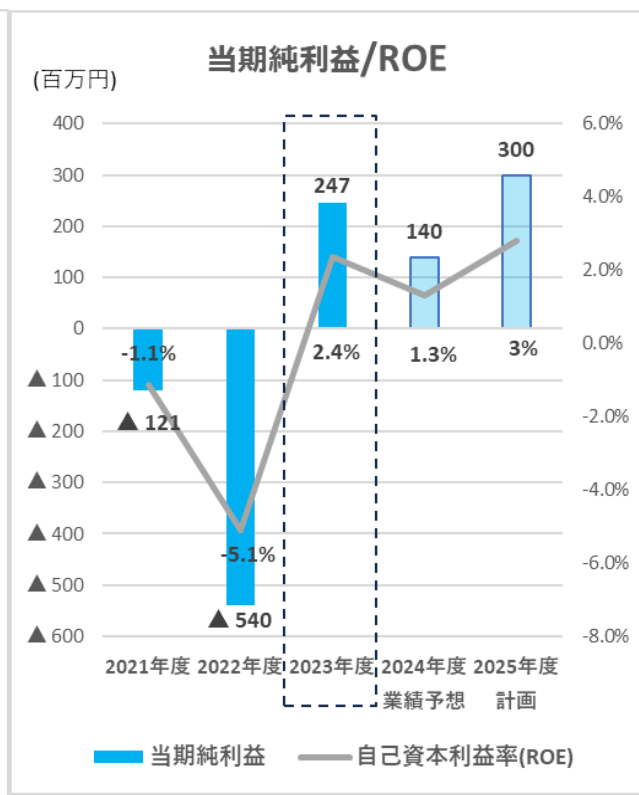
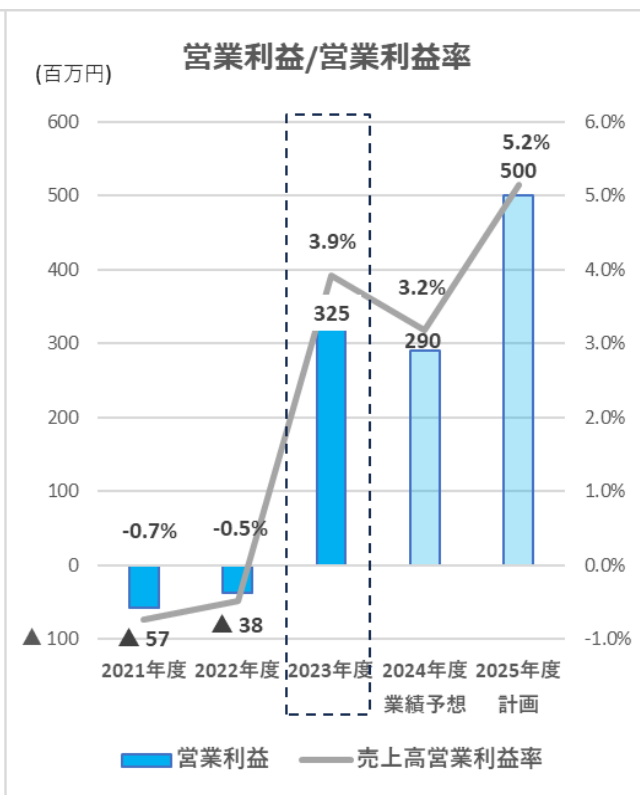
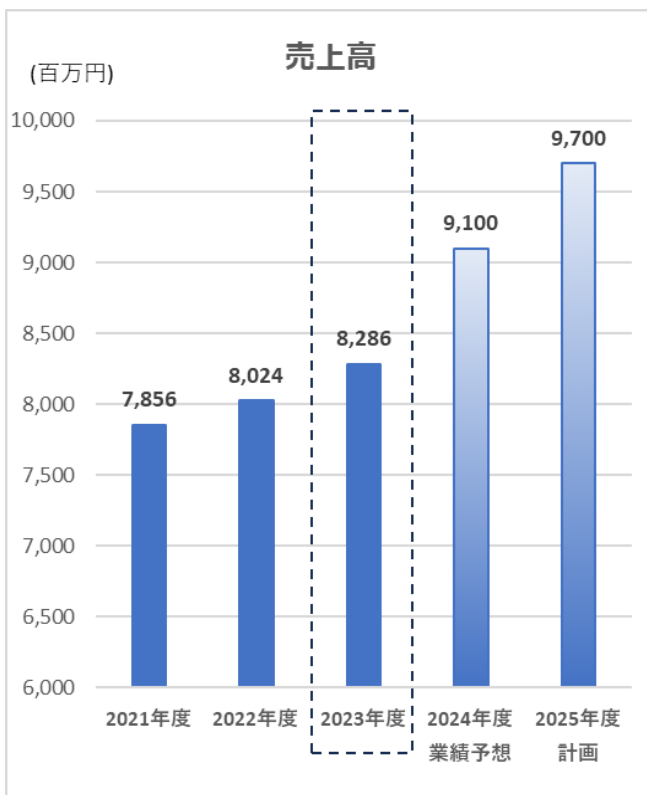
2024年5月

1. 中期経営計画進捗状況【経営指標の状況】

○2023年度実績は、売上高8,286百万円(前年度比+3.3%)、営業利益は三期ぶり黒字の325百万円、当期利益は四期ぶり黒字の247百万円、ROE2.4%、ROIC2.6%。

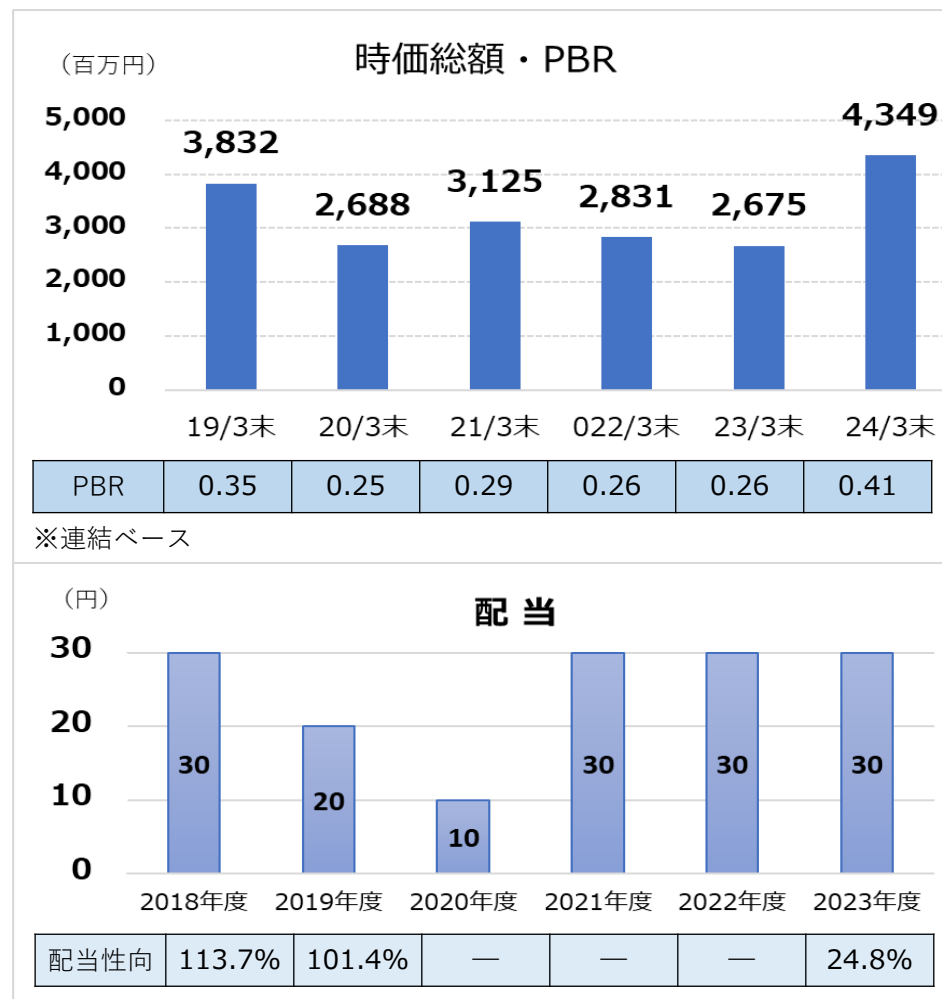
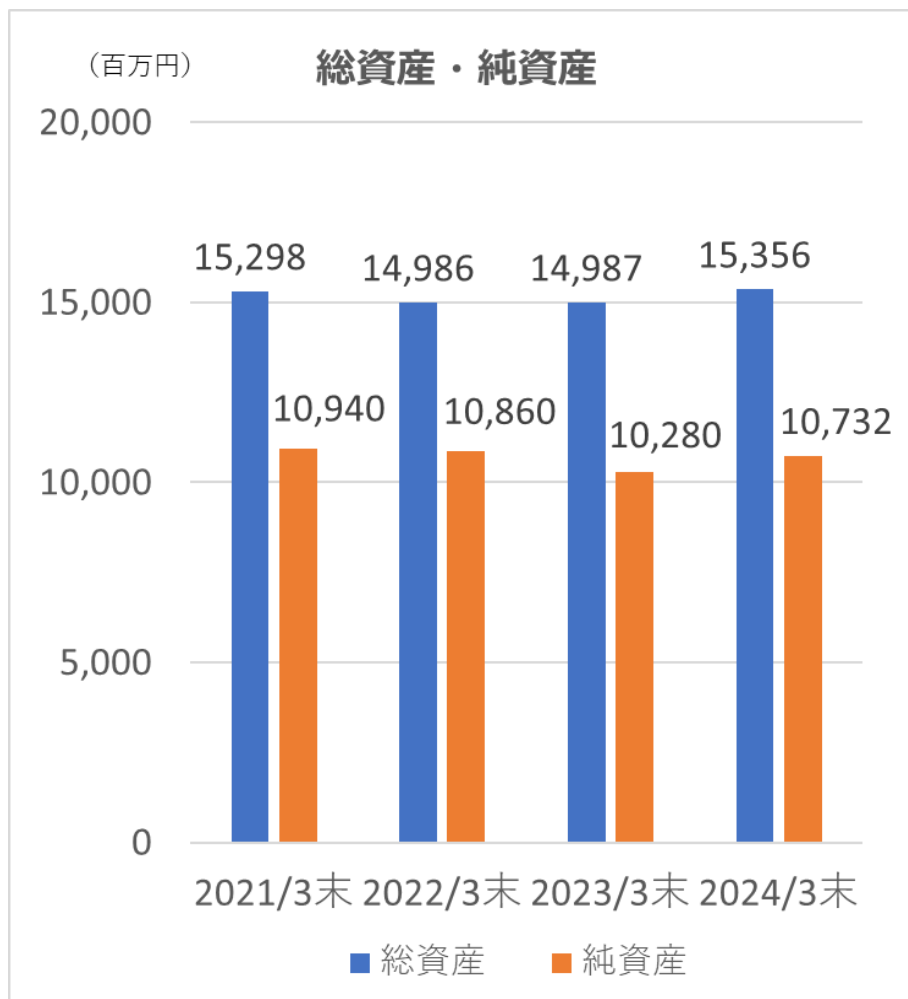
○2024年度業績予想は、売上高9,100百万円、営業利益290百万円、当期利益140百万円。

機械関連事業は船用機器部門・産業機器部門ともに工事量の増加を見込む。一方で、鋼材の自動加工ライン新設に伴う工場改修費用が発生する見込み。資源関連事業(ハイシリカ部門)の主力である半導体封止材向け需要は回復が遅れると予想。



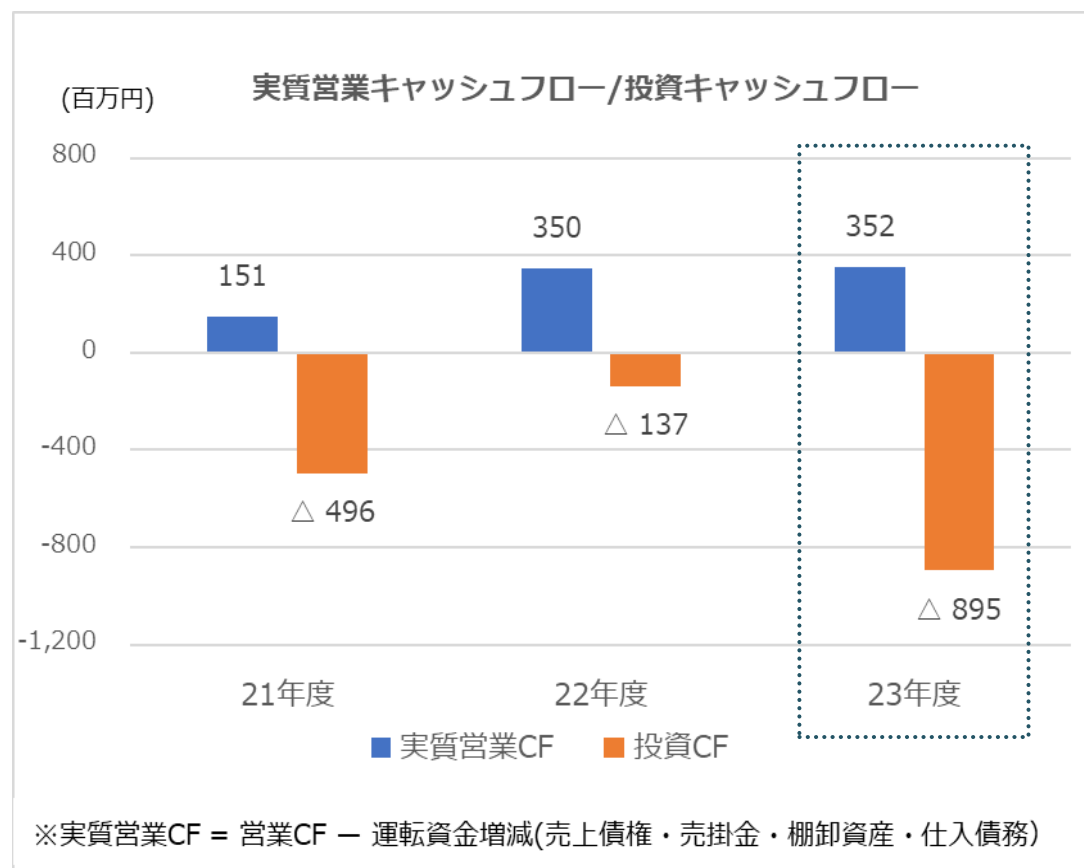
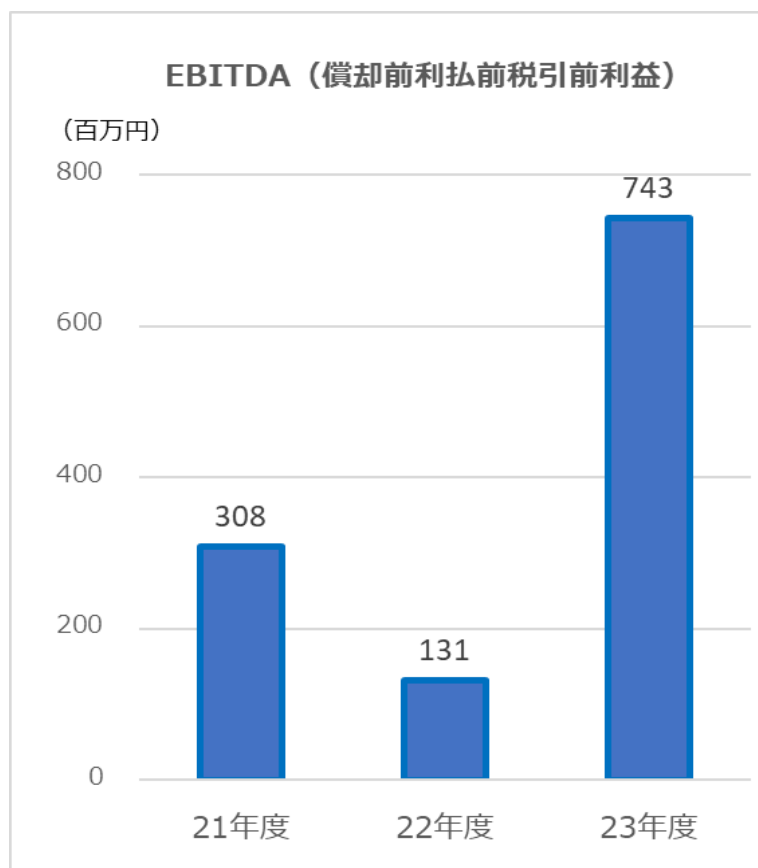
2. BS・配当・時価総額の推移

- 財務体質（純資産）は引き続き強固。時価総額は40億円超まで拡大。
- 配当性向30%を目安として今期予定配当は30円(配当性向24.8%、25/3期予想配当性向42.3%)



3. EBITDA・キャッシュフロー

- 23年度EBITDAは743百万円と22年度(131百万円)から大幅改善
- 23年度実質営業キャッシュフローは22年度に発生した台風被害にかかる支払い等により、22年度とほぼ同額の352百万円
- 23年度投資キャッシュフローは895百万円。積極的な設備投資を継続的に実施（詳細P5）



4. 基本経営戦略の進捗状況①

戦略Ⅰ

生産設備へ集中的に積極投資することにより、安全性・生産性の向上を図り、現業の競争力を高める

松浦、鹿町、江迎の各工場において、積極投資を実施・検討中

○松浦工場(機械関連)

- ・60トジブクレーン更新
- ・プラズマ切断機更新
- ・30ト天井クレーン補修
- ・鋼材の自動加工ライン新設に向けた準備



(60トジブクレーン)



(NCプラズマ切断機)

○鹿町工場・江迎工場(資源関連)

- ・受託加工業務拡大を目的として設備投資
- ・環境対策設備である排ガス処理設備(スクラバー)更新
- ・高純度製品対応ジェットミル導入計画



(30ト天井クレーン)



(スクラバー本体)

4. 基本経営戦略の進捗状況②

戦略Ⅱ

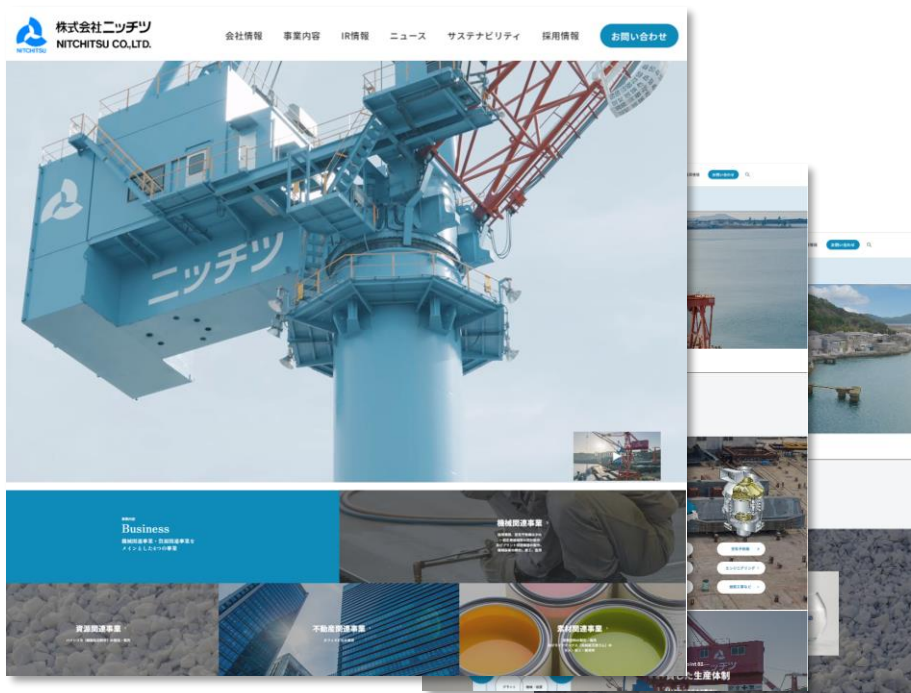
人財への投資（採用・育成・福利厚生制度の充実）を加速して、社員の働きがい向上と当社グループの競争力向上を目指す

1. 当社紹介ツールの拡充

①HPの改修

<https://www.nitchitsu.co.jp/>

製品情報や人財ページを拡充し、より詳しい情報を発信



②インスタグラム開設

<https://www.instagram.com/nitchitsu/>

各拠点の社員が業務の紹介や当社のイベント、日常などを投稿



4. 基本経営戦略の進捗状況②

2. 採用体制の拡充および福利厚生制度の充実（詳細P10）

- ・ 事業本部横断の人事・採用専担者を設置する等、採用体制拡充
- ・ 借上げ社宅制度・奨学金返還支援（代理返還）制度導入
- ・ 従業員持株会奨励金引上げ（奨励金率 5% ⇒ 10%）
- ・ 従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度導入




今年度は、従業員向けエンゲージメント調査を実施、課題の明確化及び組織状態を可視化させて、更なる改善を目指す

戦略Ⅲ



脱炭素・環境への取り組み等、新たなビジネス領域に挑戦して、現業との両輪とする

- ・ 次世代燃料船（LNG燃料船等）、洋上風車関連及び環境対応型工事へ継続的取り組み
- ・ 舶用製品（RAMP・環境対応製品）の受注拡大
- ・ 受託加工業務拡大を目的に設備投資実施


5. 事業別戦略実績① | 機械関連事業

	23年度実績	24年度計画
舶用機器部門 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船体ブロック製作部門/ハッチカバー製作部門の一体運営 ・ ハッチカバー製作の稼働率向上による収支改善 ・ RAMP等その他舶用関連拡大 ・ ウィンドチャレンジャー硬翼帆台座（ファウンデーション）製作 ・ 天井クレーン性能向上による工数削減 ・ 60トジブクレーン更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハッチカバー製作にて同一船型連続生産による習熟度向上・工数削減 ・ 切断ロボット導入による鋼材の自動加工ライン新設に向け、工場改修 ・ 調達先多様化による資材コスト圧縮 ・ LNG燃料船パイプタワー製作
産業機器部門 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製鉄関連工事の取り込み ・ 舶用特殊製品（RAMP、環境対応製品）の受注製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生可能エネルギー関連工事、環境対応型工事の積極受注 ・ 火力発電所燃料混焼による熱交換器エレメントへの影響確認
施設工事部門 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型工事（燃料電池原料工場）受注 ・ 特定建設業(管工事業)資格取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子力工事への参入 ・ 環境関連型工事の受注

5. 事業別戦略実績② | 資源関連事業 (ハイシリカ部門) / 素材関連事業

	23年度実績	24年度計画
資源関連事業 (ハイシリカ部門) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託加工業務拡大を目的として設備投資 ・ 純化处理設備を増強し、品質の安定化と生産効率が向上 ・ 新粉砕ラインの具体的な設計を実施 ・ 光触媒製品のフィールド試験を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受託加工業務の拡大 ・ 高純度製品対応の新粉砕ライン(ジェットミル導入)の工事開始 ・ PV用途向けの製造設備を整備(2024年度試作設備完成) ・ 光触媒製品の实用化(販売)を目指す ・ 生産効率向上のための設備更新を計画
素材関連事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライナテックス(高純度天然ゴム)新規顧客開拓 ・ 大型製作品(ペンディングロール)受注 ・ 水性塗料・輸出販売の拡大 ・ 自動車・家電・半導体向け新規塗料の発売 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライナテックス拡販・エンジニアリング強化継続 ・ 海外拡販体制の整備 ・ 新型ミルの導入 ・ フッ素フリー塗料の開発

6. 経営基盤強化の実績

	23年度実績	24年度計画
<p>人財への投資</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・借上げ社宅制度導入 ・当社紹介ツールの拡充 <ul style="list-style-type: none"> － HPの更新、Instagram開設 ・奨学金返還支援制度導入 ・リファーマル採用制度化 ・従業員持株会奨励金引上げ <ul style="list-style-type: none"> － 奨励金率 5% ⇒ 10% ・社員業績向上に対するインセンティブ制度検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・採用専担者による採用活動強化 ・地方行政による取組みへの参画 ・外国人労働者（特定技能）採用継続 ・独身寮・社宅の改装 ・新事務所建設 ・従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度導入 ・タウンミーティングの実施
<p>環境保全 関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・安全、技術担当取締役設置 ・坑廃水処理設備改善(一部省エネ化) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ環境安全活動の拡充
<p>社会・ガバナンス 関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役員株式給付信託に業績連動部分追加 ・グループ表彰の制度化 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族職場見学会の実施 ・エンゲージメント調査(働きがい向上) ・コンプライアンス研修会の体系的推進 ・更なる権限委譲

参考 1. 中期経営計画方針（23年5月12日公表）

ニッチツ企業理念

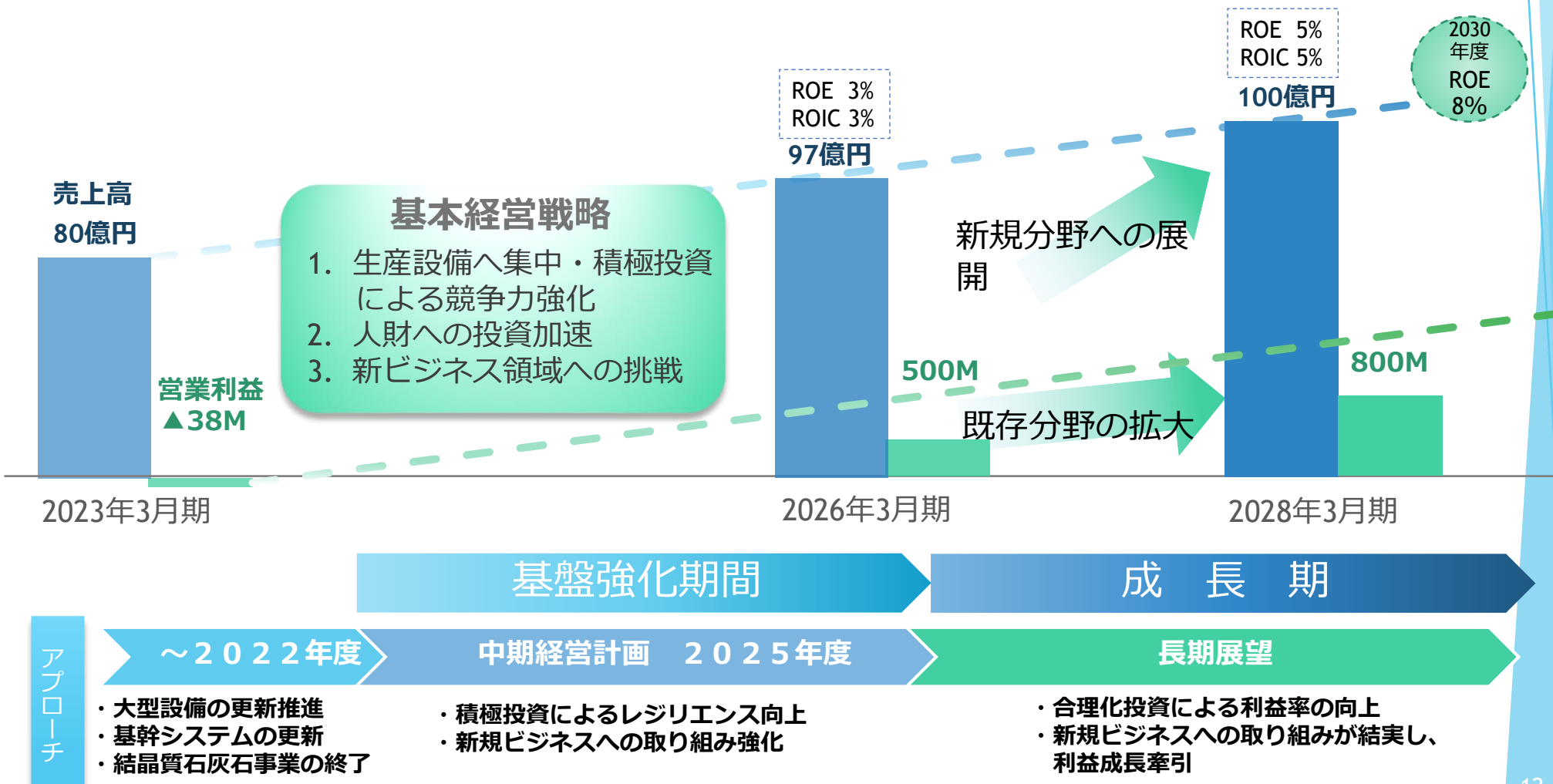
ニッチツグループは、その経営の原点を、株主はじめ、取引先各位、地域社会との「パートナーシップ」に置き、たゆみ無い向上心の発揮を通じて、高度な産業生産財を提供し、もって、社会の発展に貢献することを究極の理念とします。

中期経営計画方針

ニッチツ企業理念の実現を目指して、積極投資によるレジリエンス向上（現場力強化）と新たなビジネス領域への挑戦（成長事業へのリソース投入）により、将来に向けて経営基盤を再構築し、取引先・地域への貢献および企業価値向上を着実に図っていきます。

参考 2. 中期経営計画の位置付け (23年5月12日公表)

- 中期経営計画(2023年度～25年度)は、27年度ROE 5%、30年度ROE 8%を目指すための**基盤強化期間**と位置付け
- 中期経営計画の目標策定にあたり、市場に対してわかりやすい形で示すこと及び自社の資本コストを意識した計画とすることを目的に、投下資本の収益性指標であるROE及びROICを活用



参考3 中期経営計画 株主還元方針（23年5月12日公表）

- ① 配当による株主還元を基本とし、配当水準の安定的向上を図る
- ② 配当性向30%（中計3年間累計）を目安とし、中期的なFCFの見通しから、配当水準を判断する
- ③ 自己株取得は資本構成適正化に加え、投資案件や株価の状況等を総合的に勘案して検討する

将来予測に関する注意事項

本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。